

関社連発第3号
令和3年5月31日

一般社団法人全国社会教育委員連合会長・事務局長 様
関東甲信越静各都県・政令都市
社会教育委員連絡協議会長・事務局長 様

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会長
東京都市町村社会教育委員連絡協議会長 長畑 誠
(公印省略)

令和3年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第1回理事会書面開催
に伴う会議資料の送付について (通知)

日頃より本協議会の活動に御理解・御協力いただき、厚く御礼申しあげます。
先般御案内させていただいたように、第1回理事会は書面開催とさせていただきます。協議内容及び資料を御確認いただき、6月23日(水)までに御回答くださいますようお願いいたします。

記

1 議案

- (1) 第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について【東京都】
- (2) 第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会について【山梨県】
- (3) 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について【栃木県】
- (4) 関東甲信越静社会教育研究大会の開催都県及び発表ローテーションについて【東京都】
- (5) その他

2 今後の手続等

(1) 書面開催について

各都県市事務局におかれましては、議案内容を御確認いただき、検討結果シート(別紙)を6月23日(水)までに御返信ください。なお、各議題への質問等は、提案を行なった都県市へ行ってください。

※6月23日(水)までに決議報告がない場合、各議案の承認をいただいたものとして事務を進行しますので、御意見等がありましたら早めにお知らせください。

【議案(2)についての連絡先】

山梨県社会教育委員連絡協議会事務局(山梨県教育庁 生涯学習課内:伊藤)

〒400-8504 甲府市丸の内1-6-1

TEL 055-223-1770 Fax 055-223-1775 e-mail itou-krfp@pref.yamanashi.lg.jp

【議案(3)についての連絡先】

栃木県社会教育委員協議会事務局(栃木県教育委員会 生涯学習課内:菊池)

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-3404 Fax 028-623-3406 e-mail shinsei-syougaigakusyu@pref.tochigi.lg.jp

【議案(1)(4)(5)及び今後の手続等についての連絡先】

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会事務局

東京都市町村社会教育委員連絡協議会事務局

(府中市文化スポーツ部文化生涯学習課内:柏木・^{いさやま}諫山・栗原)

〒183-0056 東京都府中市寿町1-5

TEL 042-335-4394 Fax 042-365-3593 e-mail syakyo01@city.fuchu.tokyo.jp

各協議に係るポイント

議事（1）第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について【東京都】

今年度開催の東京大会の概要です。東京大会への御要望・御質問等をお寄せください。

議事（2）第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会について【山梨県】

令和4年度開催予定の山梨大会の概要です。同大会への御要望・御質問等をお寄せください。

議事（3）第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について【栃木県】

令和5年度開催予定の栃木大会についてです。詳細は後日ということですが、同大会への御要望・御質問等をお寄せください。

議事（4）関東甲信越静社会教育研究大会の開催都県及びローテーション（案）について【東京都】

本ローテーションに基づき、令和6年度大会は茨城県、令和7年度大会は神奈川県になります。開催に向けた準備をお願いします。

今年度東京大会では分科会ローテーションを使用し、事例発表を実施する予定で準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、1日開催に変更となり、分科会の実施がなくなったため、分科会ローテーションを使用しておりません。そのため、令和4年度の山梨県大会の部分につきましては、東京大会がローテーションを使用しなかったことを踏まえた順番で組んでおります。

議事（5）その他

その他に何か御意見があれば御記入ください。

令和3年度

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会

第1回理事会



令和3年5月開催

新型コロナウイルス感染症の拡大の懸念から、本会議は書面開催とします。

令和3年度
第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会
開催要項(案)

1 大会スローガン

明日に向け 学びの輪を広げよう！！
～地域の魅力 グローバル社会で再発見～

2 開催趣旨

私たちは、今、人生100年時代に向け、未来志向の社会教育を考えていかなければなりません。

社会教育は、人・つながり・地域をはぐくみ、よりよい社会を形成することが出来るものだからです。

大会スローガン「明日に向け 学びの輪を広げよう！！」は、人生100年時代のこれからの未来を表現し、社会教育＝学びが広がっていくことをイメージし、人や地域が繋がっていくことを目指します。

これまで、それぞれの地域では、豊富な人材と魅力あふれる多くのコミュニティにより様々な取り組みが行われてきました。しかしながら、超高齢社会が進み、コミュニティの弱体化が叫ばれるようになり、最近では、新型コロナウイルス感染症がそれに追い打ちをかける事態となっています。そして、社会教育が得意とする、顔と顔を突き合わせてのコミュニケーションがとりづらくなり、コミュニティの先細りへの不安が地域に広がってきています。

そのような中、インターネットを活用した新しいコミュニケーションの取り方が広がりを見せており、新しい地域をつながり、社会教育の方法を模索しなければなりません。人々によってはぐくまれた地域の魅力を再発見する必要があります。東京大会が、地域の活性化に向けた新しい社会教育活動のきっかけとなるような大会になれば幸いです。

3 主催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会
東京都市町村社会教育委員連絡協議会
令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会

4 期日

令和3年11月11日(木)

5 会場

府中の森芸術劇場(東京都府中市浅間町1-2 TEL:042-335-6211)
京王線東府中駅北口下車徒歩7分
[新宿駅から約25分、京王八王子駅から約20分]

※会場への大会内容に関するお問い合わせは御遠慮ください。

6 参加対象

東京都内の社会教育委員および社会教育・生涯学習・地域活動に関心のある方(約300名)
(関東甲信越静各県及び政令指定都市については、録画配信予定) ※ライブ配信も検討中

7 参加費

一人3,000円(参加資料代として)

8 大会日程

【受付】 11:30~12:30

○アトラクション (12:30~12:45)

・元気一番!ふちゅう体操(参加型アトラクション)

○開会行事 (13:00~13:25)

- ・開会の言葉
- ・主催者挨拶
- ・来賓祝辞
- ・歓迎の言葉

○基調講演・トークセッション (13:30~16:15)

・演題「未定」

・基調講演講師

東京大学 教授 牧野 篤 氏

・トークセッション登壇者(五十音順)

東京学芸大学准教授・立川市生涯学習推進審議会委員 倉持 伸江 氏

演出家(ミュージカルアニーほか)・調布市社会教育委員 篠崎 光正 氏

東海大学准教授・昭島市社会教育委員 二ノ宮リム さち 氏

東京大学 教授 牧野 篤 氏

日本大学文理学部講師・町田市社会教育委員 吉田 和夫 氏

※途中休憩15分を含む

○閉会行事 (16:20~16:25)

- ・主催者挨拶
- ・閉会の言葉



令和4年度 第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会 開催要項(案)

1 大会スローガン (R3.6 県理事会で再検討)

「語ろう 甲斐の国やまなしで」

～ 人を結ぶ これからの社会教育 ～



2 研究主題 (R3.6 県理事会で再検討)

新たな生活環境の中での社会教育のあり方を考える

～ 社会的包摂に向けた社会教育の果たす役割 ～

山梨県 PR キャラクター
武田菱丸

3 開催趣旨 (R3.6 県理事会で再検討)

甲斐の武将武田信玄を私たち山梨県民は敬意を込めて「信玄公」と呼びます。信玄公は「人は石垣、人は城、情けは見方、仇は敵なり」という有名な言葉を残し、今も「武田節」の一節として歌い継がれています。

社会教育推進の基本方針は、ウイズコロナの時代にあっても、社会教育の原点である「人づくり、つながりづくり、地域づくり」であり、まさに信玄公と想いを一にするものといえます。昨今の「想定外」と言われる各地の大災害は、人と人、人と地域のつながりの重要性を再認識させてくれるものとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響により地域社会の先行きが不安視される今だからこそ、「誰一人取り残さない」包摂的な社会づくりを推進していくことが社会教育の果たすべき役割と考えます。

この2日間、ここに社会教育関係者がよっちゃばって(一堂に集い)、これからの社会教育についての語り合いが皆様のかげがえのない財産となり、活力ある地域社会づくりの礎となることを期待しています。山梨によっちゃばって話をするじゃんけ(集い、大いに語りあいましょう)。

※1～3につきましては、コロナ禍にあって、再検討する必要があるとの声が多数上がっているため、今後、理事会等で協議して内容を変更する場合があります。

4 期 日

令和4年11月10日(木)～11日(金)

5 会 場

【1日目 (全体会)】 甲府市総合市民会館 (山の都アリーナ)

〒400-0033 山梨県甲府市青沼3-5-11

【2日目 (分科会)】 山梨県立図書館

(1F イベントスペース 2F 多目的室)

〒400-0024 山梨県甲府市北口2-8-1

防災新館 (1F オープンスクエア)

〒400-0024 山梨県甲府市丸の内1-6-1

6 参加費

一人3,500円 (参加資料代として)

7 分科会について

分科会での事例発表については、2分科会 (各分科会2事例・計4事例の予定) を考えており、分科会ローテーション表上位の自治体をお願いしたいと考えています。発表自治体は、横浜、群馬、茨城、栃木となっています。年内には依頼させていただきます。なお、分科会テーマについては、後日、連絡いたします。

令和3年度関東甲信越静社会教育委員連絡協議会第1回理事会（書面開催）
第3号議案 第54回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について

【議案提案都区市】

栃木県（栃木県社会教育委員協議会）

【議案内容】

栃木県社会教育委員協議会では、令和5年度の大会開催準備を進めるため、今年11月に栃木大会準備委員会を組織し開催準備を進める予定です。

詳細については、今後の理事会で提案させていただきます。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

関東甲信越静社会教育研究大会分科会事例発表都県市

ローテーション申し合わせ事項

【確認】

- (1) 事例発表と県の順番は、大会開催順を基本とする。ただし、前年に大会を開催した都県は、原則として事例発表から除く。(平成22年度大会より)
- (2) 政令指定都市の順番は、(上記)を原則とする。(平成22年度大会より)
- (3) 原則として、政令指定都市は事例発表の1枠を担当し、残りの数が都県の担当となる。
- (4) 都県順番
①埼玉県 ②長野県 ③東京都 ④茨城県 ⑤栃木県 ⑥山梨県 ⑦神奈川県
⑧群馬県 ⑨千葉県 ⑩新潟県 ⑪静岡県 ⑫政令指定都市
- (5) 政令指定都市内順番
①千葉市 ②横浜市 ③さいたま市 ④川崎市 ⑤静岡市 ⑥新潟市 ⑦浜松市
⑧相模原市

【平成30年追加確認】

- 1 公募かローテーションで行くかは、開催都県市の分科会構想に委ねる。その方向は、開催前年度の第1回理事会までに提案する。
- 2 ローテーションの場合は、別紙事例発表候補都県市ローテーション表(案)による。また、公募の場合も分科会の事例発表数に足りない場合は、ローテーション表により、依頼する。
- 3 公募の場合もローテーション表の場合も、ローテーション表に反映させる。

関東甲信越静社会教育委員連絡協議会
 全国大会・関ブロ大会の開催ローテーション(平成28年3月18日確認)

年度	全国大会		関ブロ大会				理事会 提案時期	開催最終 確認時期	備考
	基本(イ)	決定(ロ)	基 本(ハ)	開催都県	前回からの				
28	千葉県	千葉県	1	千葉県	千葉県	11	-	H25.3	
29			2	新潟県	静岡県	10	-	H26.3	
30			3	静岡県	長野県	10	-	H27.3	
元			4	埼玉県	埼玉県	10	H28.6	H28.3	
2	新潟県	新潟県	5	長野県	新潟県	14	H28.6	H29.3	
3			6	東京都	東京都	11	H28.6	H30.3	
4			7	茨城県	山梨県	10	H28.6	H31.3	
5			8	栃木県	栃木県	10	H28.6	R2.3	
6	静岡県	茨城県	9	山梨県	茨城県	13	H28.6	R3.3	
7			10	神奈川県	神奈川県	11	R1.5	R4.3	
8			11	群馬県	群馬県	11	R1.5	R5.3	
9			1	千葉県	千葉県	11	R1.5	R6.3	
10	埼玉県	静岡県	2	新潟県	静岡県	11	R1.5	R7.3	
11			3	静岡県	長野県	11	R5.5	R8.3	
12			4	埼玉県	新潟県	10	R5.5	R9.3	
13			5	長野県	東京都	10	R5.5	R10.3	
14	茨城県	埼玉県	6	東京都	埼玉県	13	R5.5	R11.3	
15			7	茨城県	山梨県	11			
16			8	栃木県	茨城県	10			
17			9	山梨県	神奈川県	10			
18	栃木県	栃木県	10	神奈川県	栃木県	13			
19			11	群馬県	群馬県	11			
20			1	千葉県	千葉県	11			
21			2	新潟県	静岡県	11			
22	群馬県	長野県	3	静岡県	長野県	11			
23			4	埼玉県	新潟県	11			
24			5	長野県	東京都	11			
25			6	東京都	埼玉県	11			
26	長野県	山梨県	7	茨城県	山梨県	11			
27			8	栃木県	茨城県	11			
28			9	山梨県	神奈川県	11			
29			10	神奈川県	栃木県	11			
30	山梨県	群馬県	11	群馬県	群馬県	11			
31			1	千葉県	千葉県	11			
32			2	新潟県	静岡県	11			
33			3	静岡県	長野県	11			
34	神奈川県	東京都	4	埼玉県	東京都	10			
35			5	長野県	新潟県	12			
36			6	東京都	埼玉県	11			
37			7	茨城県	山梨県	11			
38	東京都	神奈川県	8	栃木県	神奈川県	10			
39			9	山梨県	茨城県	12			
40			10	神奈川県	栃木県	11			
41			11	群馬県	群馬県	11			

【関東甲信越静社会教育研究大会開催都県の決定及び確認方法について】

1. 開催年度の3年前の3月までに関ブロ理事会で正式決定する。
2. 開催都県の順番は、関東甲信越静地区で定めた「基本ローテーション(ハ)」により決定するが、全国大会(関ブロ大会と同時開催)の開催間隔を考慮し、一部開催順序を入れ替える。
3. 全国大会の開催都県(ロ)は、平成27年度確認により、千葉県を起点とした基本ローテーション(イ)を定め、関ブロ大会の開催間隔を踏まえ、開催順序を適宜入れ替え決定する。

関東甲信越静社会教育研究大会 分科会事例発表候補都県市ローテーション(案)

- (1) 事例発表と県の順番は、大会開催順を基本とする。ただし、前年に大会を開催した都県は、原則として事例発表から除く。(平成22年度大会より)
- (2) 政令指定都市の順番は、(上記)を原則とする。(平成22年度大会より)
- (3) 原則として、政令指定都市は事例発表の1枠を担当し、残りの数が都県の担当となる。
- (4) 都県順番
- (5) 政令指定都市内順番

- ① 千葉県 ② 横浜市 ③ さいたま市 ④ 川崎市 ⑤ 静岡市 ⑥ 新潟市 ⑦ 浜松市 ⑧ 相模原市
- ⑨ 群馬県 ⑩ 新潟県 ⑪ 静岡県 ⑫ 政令指定都市

回	年度	開催都県	基本	全国	分科会数	公募	埼玉	長野	東京	茨城	栃木	山梨	神奈川	群馬	千葉	新潟	静岡	政令市	備考
45	26	神奈川			5+2(特別)		⑦	⑧	⑨	④	⑩	⑩	①	⑤	⑥	—	③	①静岡 ②新潟	
46	27	群馬			5		7	8	9	5	④	10	①	①	6	③	②	①浜松	
47	28	千葉		○	5		○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
48	29	静岡 (新潟)			5		8	9	③	②	⑩	④	5	6	7	○	①相模原		
49	30	長野 (静岡)			5	○	7	○	8	9	②	10	3	4	⑤	6	①千葉 ○新潟		
50	元	埼玉			2+3(発表なし)	○	○	○	6	7	9	8	②	3	⑩	4	5	1横浜	
51	2	新潟 (長野)		○	5	○	○	⑨	4	5	7	6	10	2	8	○	③	1横浜	
52	3	東京			3+2(発表なし)		8	10	①	③	5	④	7	②	6	9	1横浜	左図のとおり事例発表を行う予定で準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、1日開催に変更となり、分科会の実施がなくなつたため、ローテーションを使用しておりません。	
53	4	山梨 (茨城)					7	9	3	4	4	6	2	5	10	8	1横浜	東京大会でローテーションを使用していないことを踏まえたものとなります。	
54	5	栃木																	

○ : 分科会事例発表都県市
 △ : 開催都県
 / : 前年度開催都県
 数字: 発表候補都県市順番